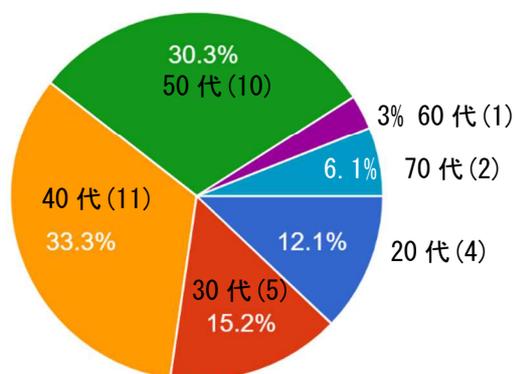


参加者アンケートまとめ

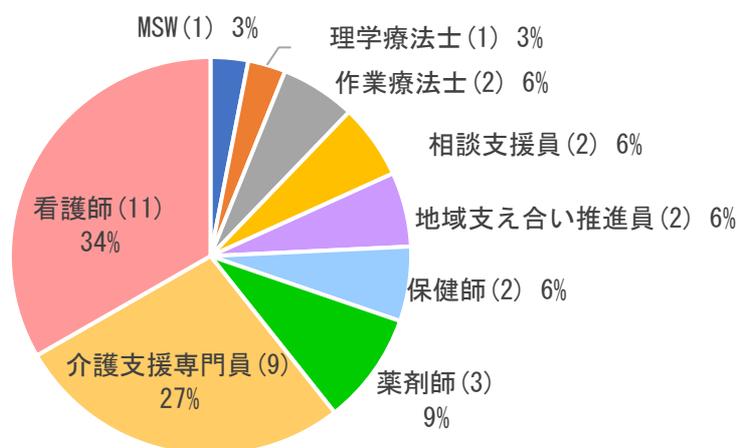
あなたについて：年代

33件の回答



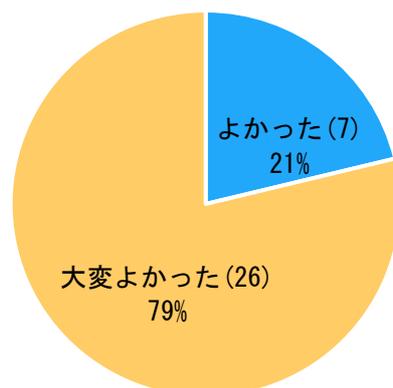
あなたについて：職種

33件の回答



研修内容はいかがでしたか

33件の回答



*前問(研修内容はいかがでしたか)について、その理由

- ・様々な意見をきくことができ、今後業務に活かしていけると思いました。
- ・多職種でグループワークできたところ
- ・自分の学びが深めた。所内でも深めていきたい。
- ・多職種の見取りに対しての目線など、有意義な意見を聞くことができました。
- ・とても分かりやすかった。
- ・看取りについて多職種の意見、考えが聞けて大変参考になりました。
- ・医療職、介護職、それぞれの方の経験をお聞きすることができ、普段の業務ではわからないことを学ぶ機会となったから。
- ・自分だけでは思いつかない意見や、実際の現場の意見を聞くことができたため
- ・新しい情報を頂くことが出来た
- ・それぞれの専門職の視点からの意見交換と、今まで携わってこなかった「看取り」の時期の本人や家族の気持ちの変容などを、今まで携わってこられた方に学びながら考えることができる機会となりました。
- ・自分にはない考えをグループメンバーから聴くことができた。
- ・看取りの支援について、自分にはなかった視点を得ることができた。
- ・普段話すことが出来ない多くの多職種の方とディスカッションが出来たため。
多職種の価値を共有できたこと。
- ・今回は医療・介護に関する専門性の高い内容のように思いましたが、なるほどなという気持ちで多くのことを勉強させていただきました。本日は本当に貴重なお時間ありがとうございました。
- ・他職種と意見を交換することで様々な見識を得ることができました。ありがとうございました。
- ・色々な人の意見が聞けた
- ・それぞれの立場からの発言で、気づきが多かった。
- ・多職種の方と色々な意見が話し合えたことが良かった。色々な意見と考えが聞けた。
それぞれの職種から、それぞれの立場での意見が良かった。
- ・ちょうど良いバランスの多職種メンバーだったこと。
- ・同席の医師が、深めの医療面の思いを簡潔に淡々と話をされ、聞き入った。
- ・介護に直接関わる職種ではない方から、看取りというケアに対する新鮮な思いを聞くことができた。
- ・看取りについて本人の立場、家族の立場に立ち医療者としてどの様に援助、介護を行っていくのか考える事が出来ました。今までは病院での看取りを行ってききましたが、今は施設内での看取りとなります。その時にどのように対応していくか今後の課題が見えてきた様に思います。
- ・一事例を3回シリーズで通して検討していくというのが、分かりやすくて良かった。
- ・看護師の方の参加者が多く、専門的な視点の意見が聞けて良かった。ただ、参加予定だった医師の方が欠席だったので、お医者さんの意見も聞いてみたかったなあと少し残念に思いました。
また、OT・PT・STさんの意見も聞けたら尚良かったと思います。
- ・看取りが近づいた際の本人家族の関わり方を、多職種の方から意見が聞けて良かった。
- ・多職種で話をすること、聴くことができ大変良かったです。
- ・研修の目的の通りだと思いますが、地域の他職種との交流・意見交換の場になった。
- ・多職所の方と話し合うことができた
- ・様々な職種の方の意見をきくことができた。
- ・在宅での看取りについて支援者としてどう関わっていくか等改めて考える良い機会になりました。
- ・他職種の意見をいろいろ聞ける機会となりました。
- ・GWを通して、看取り時に家族以外にも親交のあった方との時間を設けるといった意見など、広い視点からの意見聞くことができて参考になった。

*今回の研修に参加しての気づき

- ・多職種との絆を感じた。
- ・ACP ノートを活用してみて、話し合い場面での説明方法で、メンバーの意見が変化する場面が多くありました。
- ・病院と在宅での看取りの違い、利点を知ることができた。
- ・患者さんやそのご家族とのコミュニケーションを十分に行うことの重要性
- ・年齢や経験、立場などがいかに患者に影響があるか。やはりチームで動くことの大切さを感じた。
- ・改めて、専門職間の連携の大切さを感じました。また本人や家族がこれからを考える為の情報の提供や、考える・思いを伝えるための環境の整備も専門職の役割の一つだということを感じました。
- ・本日の研修を参考に本人も家族も自宅で安心して最期を迎えられるような支援をしていきたい。
- ・看取りについて、薬剤師としてまず考えるのが薬のことでしたが、今回の研修ではどの職種の方も患者さんを中心に考えていたことが印象的でした。また、ケアといってもバイタルサインを確認して経過を追っていくと考えていた部分もありましたが、考えが浅はかだったと感じました。
- ・看取りにおける医療分野の専門性について一般的な知識を整理することができた。
- ・一つの事例を三回シリーズで通して関わることで、その人にとっての人生ということを学んだ。
- ・専門職の視点、考え方が多少なりとわかったので出来ることは提案していきたい
- ・各職種がコミュニケーションをとって、患者さんをみんなで支える事がとても重要。
- ・多職種連携・共有・理解が必要だと思った。
- ・今の時代、人が亡くなる場に居合わせるという機会を持たないまま、介護や看護に係る人が増えているということ。
- ・人が最期に残される者達に教えることができるのが死であり、それを支えるために医療と介護のケアが必要であるということ。
- ・本人の意思はどうか、どこまで医療に対して理解しているのか確認する必要があること。家族や周囲もケアに対して情報共有を行っていく事が重要である事に気づきがありました。
- ・仕事の中では、在宅で行われる終末期の支援に関わることがなく、この3回目は特に難しいなあと感じましたが、その分、他の職種の方の意見がとても参考になった。
- ・ご本人の状態が変わっていく中で、家族に在宅での看取りの覚悟をしてもらうまでの支援が大切で、そこを一緒に乗り越える事でチームとなっていくように思います。
- ・訪問看護する上での、コミュニケーションの取り方。家族とのかかわり方。
- ・ご本人、その家族の思いを聞き希望に添った医療・介護が出来たらと思いました。
- ・地域包括ケアの研修であれば、医療・保健・福祉に携わる者、関連事業者、当事者や当事者家族、民生委員などの地域包括ケアに携わる一般の地域住民、地域包括ケアにまだ関心のないような一般の地域住民も一緒に考える内容だと思うが、参加者が医療・保健に携わる者が中心になっている気がする。
- ・それぞれの職種や立場で視点が違うが、本人や家族を思っていることは同じ。
- ・自宅での看取りや終末期の考え方についてもっと深掘りできるようにしたいです。
- ・看取りの場面で医療的な視点、介護の視点、本人に対するケア、家族に対するケアをどういった視点を持って看護ケアしていくか学ぶことができました。
- ・1人1人の人生全体を通して終末期というものを考えることが大切だと感じた。

*今後取り組みたいこと

- ・ACP ノートを広めていきたい。
- ・自分の母親の今後についての話し合いを、その時期時期で ACP ノートを活用して行いたいと思います。
- ・グループワークで挙げた意見等を参考に自身の今度の業務に活かしていきたいと思います。
- ・今回頂いた資料や意見を基に患者さんの在宅ケアに取り組みたい
- ・事例検討会への参加をしていきたい。
- ・患者の気持ちや様子を多職種に繋いでいきたい。
- ・予後予測を行う、ACP の活用
- ・自分 1 人で考えるのではなく、周りの職種の方と連携を円滑に行うためにも、日頃からコミュニケーションを取っていくことが大切だと感じたので、関わる機会があった時には心がけていきたいと思います。
- ・カンファレンスに参加することはたくさんありますが、病だけでなく患者さんの人生についても考えていきたい。コロナが落ち着いたら、病院内だけでなく在宅へも出てみたい。
- ・家族へのケア
- ・現在、在宅で点滴している利用者の方へ。本人、家族との関わりを。もう一度見直したい。
- ・しっかりと寄り添い、アセスメントすること。
- ・死後の段取りをもう少し詳しく知っておく。
- ・病院の MSW 等と、より連携や協力ができるための知識を得る事。
- ・看取りの際の本人の身体状況の知識を付ける事。
- ・家族の精神面へのケアができるよう対人技術を身につける事。
- ・看取りを行う場合、本人の意思を尊重し、家族の思いを聴きながらその方がその人らしく最後が迎えられるように看護していきたい
- ・この研修で学んだ多職種の連携を、日々の業務として行っている退院支援に活かしていけたらと思います。
- ・「その時に」本人、家族様とどの様に関わっていけるかを念頭に、日ごろから相談しやすい関係性を築いたり、多職種とのネットワーク作りに励みたいと思います。
- ・在宅での見取り。
- ・薬局内だけでなく、地域にいる患者さんとも関わりたいと思いました。
- ・わたしたちにも出来ることを伝え、多職種と連携してやっていきたいと思います。
- ・地域包括ケア、生活期への関わりについて、もっと関心を持ってもらえる機会・場をみんなで作っていきましょう。急性期・回復期といった限られた病期に携わっている専門職にも、もっと関心を持ってもらいたいですね。私にできることと言えば、同職種の者たちや養成教育の場で学生たちに、主に携わる病期以外にも目を向けるようにと伝えていくことです。学生たちが、在学中からこのような研修会に参加させていただけるのであれば、学生たちにもアナウンスさせていただきます。
- ・それぞれの職種の専門性を大事に、巻き込んで一緒に看取りを支えたい
- ・介護支援専門員として多職種での連携の要となるように、頑張っていきたいです。
- ・どんなことに対しても一人の意見ではなく、話し合うことが大切で、みんなの意見を知ってもらいながら、まとめていけるようにしていきたいと感じています。まとめていくプロセスが大切だと思いました。
- ・利用者それぞれの人生観に合わせたサービスが提供できるよう取り組んでいきたい。

*研修全体をとおしての感想

- ・自分の役割を明確化し、普段のケースワークや、介護予防事業等の展開に役立てていきたいと思う。事例検討等を今後は深めていけたらと思った。
- ・楽しい話し合いができて、よかったです。・楽しかったです。・来年度もぜひ参加したいです。
- ・3回シリーズを通して実りのある研修内容でした。
- ・導入部の説明等分かりやすく説明していただけた為、グループワークが円滑に行えました。
- ・参加させて頂きありがとうございました。
- ・オンラインでの開催で移動時間などがなく、時間を有効活用した研修会になったと思います。貴重な体験を提供してくださりありがとうございました。
- ・一回一回が新鮮で学びが多い研修です。・大変貴重な機会をいただきましてありがとうございました。
- ・オンライン研修もいいところがありますが、集合研修に参加したいと思います。
- ・自分一人で行えることは限られているが、多職種ならできることが多くあり、また多職種の中の自分も皆さんに支えられているなあと強く感じました。
- ・司会の役割が果たせずファシリテーターの方にお世話になりました。また参加させていただきたい。
- ・3回の研修全てに参加してみたかったです。ただ、今回の参加だけでも様々なことを学ぶことが出来たので、今後に活かしていきたいと思います。
- ・県外からの急な参加にも柔軟に対応していただき、ありがとうございました。
- ・在宅医療介護にかかわる職種や人は多く、その中でも入所施設や入院施設に関わるスタッフも圧倒的に多いが、日々の業務に疲弊したり研修を受ける余裕のない人たちもたくさんいる。また入院や入所施設に関わるスタッフが在宅医療介護の視点で多職種と関わったり一緒に考えたりする機会があることで、自分の仕事に誇りを持っていけると思っている。グループワークこそ研修の醍醐味ではあるが、敷居が高く参加する勇気すらないスタッフも多く居ると思う。そういった末端までこの研修の意図や価値が伝わるようになればと思っている。企画主催されている方に感謝いたします。
- ・第一回の、現在とは違う職種になりきってみるといのは、知識もない中でなかなか難しい部分はありましたが、実際にその職種の方がどのように考えているのか知れる良い機会だったと思います。このような研修を企画していただき、ありがとうございました。
- ・楽しかったです😊勉強になりました。
- ・リモートがなかなか慣れないが、ヘッドホン使用で会話が聞き取りやすく発言もしやすい(たまに他人の声が入るときもあってびっくりするけど…)
- ・多職種とのかかわりの機会がもてて、よい勉強になる
- ・自由に話せるオフ会とかあってもいいのではと思いました
- ・相変わらず自分の司会進行はへたくそであること。は、置いといて、何よりもご本人と家族の不安と苦痛を取り除くことが大切。その人らしい最期を迎えられる支援をしたいと思った。
- ・難しいケアをそれぞれの職種がそれぞれの知識と経験、判断や決断のもと行われている事が素晴らしいです。
- ・皆さんの意見を聞いてすごく参考になる事が多く、今後の見取りへの意識が深まりました。初めての参加でしたが、今後も研修があれば参加したいと思います。
- ・3回のシリーズがそれぞれ個々ではなく、繋がっており分かりやすくよかったです。
- ・多職種の方の意見も知ることができ、勉強になりました。
- ・オンライン研修の良さもあと思いました。
- ・分かりやすく時間を感せず研修させていただきました。ありがとうございました。
- ・Webでの開催も良かったのですが、対面での開催もあれば良いと思いました。
- ・今回初めての参加でしたが、また来年度も参加できたら嬉しいです。
- ・地域包括ケアを支える絆のための研修の企画・運営、ありがとうございます。
- ・大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・有意義な研修だった。普段出会えない機関の方と深い話ができとてもよかった。
- ・皆さんがとても活発に意見交換されていて研修をとおして勉強になりました。各職種の役割を考えながら、日々自分自身には何ができるかを考えて行動していこうと思います。